

Company Newsletter
Terrace HLDGS

2026.3

TERRACE TIMES

「Stay@広島」
を合言葉に。
挑戦が育む、
まちの誇り。

巻頭特集
広島商工会議所・松藤研介会頭との対談

広島商工会議所会頭

松藤研介

×

桑原明夫

テラスホールディングス社長

社員の推し活

ご鼎足を愛でたり応援したり魅力を楽しむ！
さまざまな形の推し活

あなたは何派？

回答率100%！？
全社員に聞いてみた！

おすすめ春メニュー

華やかな春の味わいをピックアップ

徹底追跡！

奮闘する桑原組メンバーの足跡を追う

広報室レポート

奔走した日々の報告

事業部コラム

テラスHDグループ各事業部から近況報告

巻頭特集

Interview

広島商工会議所

松藤研介会頭との対談

(聞き手 広報室)

広島商工会議所 会頭
 広島ガス株式会社 代表取締役会長
 松藤 研介
 (まつふじ・けんすけ)
 関西大学卒。1983年4月広島ガス入社、2017年6月代表取締役社長社長執行役員を経て、24年4月より現職および25年11月より広島商工会議所会頭。66歳。広島市出身。

今回の巻頭特集は、広島商工会議所会頭として広島経済の舵取りを担う一方、広島ガス株式会社の代表取締役会長として地域インフラを支える、松藤研介氏をゲストにお迎えしました。テラスHDのグループ会社である桑原組は、「旧広島市民球場」や「広島銀行本店」のほか、広島商工会議所の新拠点となる「カミハチクロス」の建設地(旧市営基町駐車場)の解体工事など、広島の再開発を象徴するプロジェクトを数多く担ってまいりました。広島の新たな都市創造を支える両者が「地域に根ざす街づくり」をテーマに対談。松藤会頭には、広島ガス会長としての知見からテラスHDグループの組織づくりへのアドバイスもいただき、広島の未来に向けたメッセージを多角的にひもときます。

■「楕円形の都心づくり」が加速させる、広島の新たな鼓動

ー現在、広島では新施設の建設が相次いでいます。広島商工会議所の移転先となる「カミハチクロス」をはじめ、広島駅周辺と紙屋町・八丁堀地区を結ぶ「楕円形の都心づくり」が着実に前進していますね。

松藤会頭(以下、松藤) 街づくりにおける大規模再開発は、都市のにぎわいと交流を促す重要な社会インフラです。中国最大のビジネス・商業集積地である紙屋町・八丁堀エリアの官民連携リーディングプロジェクト「カミハチクロス」は、その象徴と言えます。ー「カミハチクロス」という名称にも強い想いを感じますよね。

松藤 「ヒト・モノ・コトが交わり、新たな広島を発信していく場所にしたい」という願いが込められています。広島商工会議所の移転に加え、高規格オフィスや

ラグジュアリーホテルの整備、エリアマネジメント団体と連携したにぎわい機能の強化も進んでいます。「人を惹きつける魅力的なまち」へと変貌を遂げる潜在能力を、この地は十分に秘めていると確信しています。

桑原社長(以下、桑原) 実は、当グループの桑原組が、その建設地である「旧市営基町駐車場」の解体工事に携わらせていただきました。広島商工会議所様の新たな門出に、深い縁を感じております。

松藤 それは実に心強いつながりですね。桑原 新駅ビル「ミナモア」や、当社のオフィスが入居する「広島JPビルディング」などの広島駅周辺。そして「カミハチクロス」を擁する紙屋町・八丁堀地区。この両拠点の再開発によって回遊性が向上すれば、広島の中核としての魅力は飛躍的に高まっていくはずですよ。

ー松藤会頭は就任時、「中小企業の自己変革に向けたチャレンジを後押しする『伴走型支援』に注力したい」と宣言されました。

松藤 地域の発展には、活力の源泉である中小企業・小規模事業者の皆さんが持続的に成長することが不可欠です。広島商工会議所では現在、創業から事業承継、DX、販路拡大にいたるまで多岐にわたる相談に対応しています。

ー「伴走型支援」という言葉には、単なる助言以上の決意を感じます。

松藤 私たちが考える支援とは、経営指導員が経営者の方々に寄り添い、「対話と傾聴」を通じて、経営者自らが本質的な課題に気づくお手伝いをする。自走するための「自己変革力」を高める側面支援です。

桑原 「自ら気づき、自走する」。経営において最も重要かつ難易度が高い部分に、

「Stay@広島」を合言葉に。挑戦が育む、まちの誇り



◎建設中の「カミハチクロス」

広島商工会議所様が寄り添ってくださるのは心強いですね。

松藤 はい。そこで広島市とともに策定した「経営発達支援計画」を、2025年4月から2030年3月までの5カ年計画としてスタートさせました。この計画に基づき、国や自治体、各支援機関と緊密に連携して、「販売力強化」「事業承継」「創業」を軸に専門家派遣などを強化します。広島の中企業が力強く変革していける体制を整えていくつもりです。

■訪れる人も住む人も、もっとこのまちが好きになる。「Stay@広島(ステイひろしま)」に込めた想い

ー広島県では若年層の「転出超過」が大きな課題です。この現状をどう打破し、「住みたい」「戻ってきたい」まちを描きますか。

松藤 広島には、歴史、文化、自然、スポーツ、食といった世界に誇る素晴らしい資源のほか、「働き場所」としても、「オンラインワン・ナンバーワン企業」がたくさんあります。この強みをポジティブに伝えるため、広島商工会議所ではいま、あらゆる場面で「Stay@広島」というキャッチフレーズを掲げています。

ー広島商工会議所の開所以来、初となる

キャッチフレーズだそうですね。

松藤 そうなんです。「訪れる人」には滞在したくなる温かさを、「住む人」にはこの街で暮らす誇りと心地よさを。広島に集うことで生まれる「笑顔の連鎖」を広げたい、という願いを込めています。行政と経済界が、オール広島で連携し、次代を担う若い世代が「広島はもっと輝ける」と確信できるような、「明るく安心・安全で魅力的なまちづくり」を推進していきます。

ーこれからの新しい広島が「活気」と「高揚感」に満ちたまちになるために、どんな仕掛けをイメージされていますか。

桑原 私は、「できない理由」を探すのではなく、常に「どうすればできるか」という可能性を追求したいと考えています。たとえば、広島の大きな魅力である「水辺」の活用です。福岡の屋台文化のよう



人と街の歴史を未来につなげる街づくり

- 建築物解体工事
- 環境リスク対策 (土壌汚染、アスベスト対策)
- リサイクル処理



Instagram



本社：広島市西区己斐本町3丁目17-24
お問い合わせ先：082-272-6006 (代表)

社員の 推し活

競馬もゴルフも愛犬も…絶賛、青春謳歌中



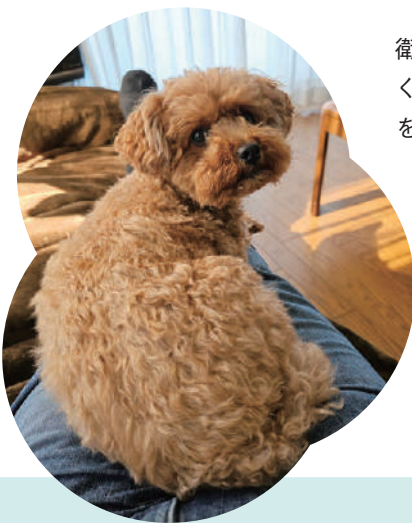
環境リスクマネジメント事業部
安全環境部 専任部長
濱崎 義法さん
(2024年2月入社)

私の推し活人生を語る上で欠かせないのが、42年間にわたりほぼ毎週欠かさず続けている「競馬」です。きっかけは、前職で建設に携わった『WINS広島』のオープン。そこで初めて馬券を購入しました。当時はテレビ実況もなく、万馬券を握りしめてラジオに耳を澄ませたものでした。日曜朝9時には馬券場へ足を運び、これまでに投じた額は「WINS広島の柱を数本か建てたのではないかと」自負するほど(笑)。今の私のスタイルは、昔のように朝から晩まで追いかけるのではなく、週末のメインレースに全集中。もちろん勝ち負けも気になりますが、何よりあの独特の「ワクワク感」を味わうことこそが、競馬の醍醐味だと思っています。

66歳になった今は、「年代ごとの楽しみ方」を大切にしています。新しいものだけでなく「過去の良さ」を再発見する楽しみも増えました。仕事から帰れば、晩酌をしながら「鬼平犯科帳」や「剣客商売」といった時代劇を観るのが至福のひとつ。不思議なもので、同じシーンを何度見ても、毎回初めて見るかのように新鮮に感動してしまうんですね(笑)。音楽も同じです。通勤中の車内では、竹内まりやさんのアルバムを聴くのが日課になっています。お気に入りには「マンハッタン・キス」や「駅」です。50代を過ぎた頃から、彼女の歌声がより心に響くようになりました。

休日はアクティブに、月1回のゴルフや映画鑑賞などを楽しんでいます。映画はシニア割引を賢く利用。いつでもお得に映画を楽しめるのは、やはりうれしい特権です。席を譲られたら「ありがとう」と素直に受け入れ、エスカレーターやエレベーターも無理せず利用する。年齢に抗ったりはしません(笑)。甘えられるところは甘えながら、等身大の自分でいたいと思っています。

桑原組に入社して2年。前職では部下に指示を出す立場で、一人で仕事をしているような孤独感を味わうこともありましたが、今は安全衛生推進担当として若い世代から刺激を受ける毎日です。もちろん大変なこともあります。仲間と笑いながら、一生懸命に、そして楽しく仕事ができている今がとても幸せです。「生涯現役、生涯元気」を目標に、これからも日常のワクワクを大切に軽やかに、「ナイス・シニア」を目指しています。



毎朝4時に起きて愛犬・モグ(トイプードル/メス8歳)の散歩に出かけます。リビングのソファでくつろいでいると、膝の上にちょこんと乗ってきて、とにかくかわいいんです! 最高に癒される時間です。

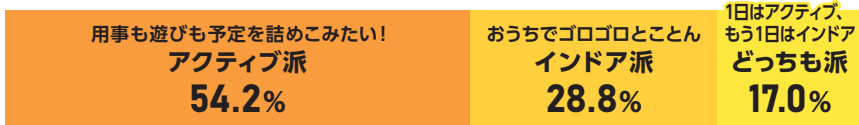


競馬情報はスマートフォンやスポーツ新聞で、ゆる〜くチェック。ランチタイムに山本さんや沖田さんとレースの予想を立てたり、「勝った、負けた」と盛り上がったりする時間が、仕事の合間の良いリラックスになっています。

全社員に聞きました!

あなたは**何派?**

Q1. あなたの“理想の休日”は?



アクティブ派
せっかくの休日なのでリフレッシュも兼ねて外出したいから。
(とめっぺいさん)

インドア派
時間に追われない日にしたいため。
(タツヤさん)

どっちも派
遊びもゆっくり休息する時間も大事にしたいから。
(すーさん)

Q2. よく聴くのは? 邦楽? 洋楽?



邦楽派
今King & Princeブームで通勤時間に聞いているから。
(りんりんさん)

洋楽派
洋楽がジャズ系が好きで、作業BGMとして聴くことが多いから。
(Sさん)

K-POP派
中学生の頃からずっと好きなので♡♡♡
(まんどろさん)

その他
邦楽、洋楽、どちらも! カテゴリーに捉われず色々な音楽を聴くのが好きだから。
(解体屋1号さん)

K-POP派 3.4%

Summary!



「理想の休日」は、半数以上の方がアクティブ派と答えました。外出でリフレッシュ、自宅でリラックス、または、その両方の良いとこ取りも♪ 休日の過ごし方は人それぞれですが、おのおの思うまま有意義な時間を満喫するのが一番ですね。

「よく聴く音楽」では、邦楽派が過半数を占めています。

邦楽・洋楽を問わず、幅広いジャンルの楽曲を楽しむ方も多いようです。自分にとって居心地の良い音楽は心身のリラックスをもたらしてくれますね😊



住む人のくらしに合わせて変えられる

そんな住まいの提案をしています

広島の新築・リノベーション施工会社

- 施工管理 株式会社桑原組
- 新築住宅 無印良品の家 広島西店

お問い合わせはこちら



本社：広島市西区己斐本町3丁目17-24
お問い合わせ先：082-272-6006 (代表)

春らんまん

期間限定

おすすめランチメニュー

歓送迎会やお花見ランチ、
記念日のご利用にもおすすめです。
テーブルを華やかに彩る春の味わい
をお楽しみください。

栗豚のサルシッチャと春野菜の アーリオオーリオ スパゲッティ

黒豚とハーブを効かせたイタリア風
ソーセージと、春の訪れを感じさせる
菜の花やブロッコリーなど、その日仕
入れた旬の野菜で作るオイルベースの
スパゲッティです。



富永和牛ほほ肉の赤ワイン煮込み 白インゲン豆のピュレと

宮崎県小林市の「富永和牛」は、無農薬飼
料と霧島の湧水で育まれた、力強い赤身の
旨味が特徴。一頭からわずかししか取れない
希少な「ほほ肉」を、赤ワインでじっくり4
時間煮込みました。スプーンでほろっと崩れ
る柔らかさの中から、濃密なコクとゼラチン
質の甘みが溢れ出します。噛むほどに広がる、
赤身肉ならではの濃厚な味わいを堪能
ください。(+800円)



旬の果物を使ったイタリア風タルト

「宮崎さんかん」を一度コンポートしてから
じっくり焼き上げることで、果実のうま味を
ギュッと凝縮。とろけるカスタードの甘みに、
さんかんの芳醇な香りが溶け合う至福の味
わいです。



シェフ / 西原 一樹

イタリア料理の真髄は、実は驚くほどシンプルです。
みずみずしい旬の野菜、獲れたての魚介、力強い肉。
それらを「焼く・茹でる・蒸す・煮込む」といった
基本の調理で。味付けの主役は、良質なオリーブオ
イルと塩。余計なものを足すのではなく、素材が持
つ本来のうま味を引き出す。そんなイタリアの家庭
で愛されるような素材で力強い一皿、食材の個性を
ダイレクトに感じられるクラシックなイタリアンを、
理想のスタイルとしています。季節によって移りゆ
く旬の味わいを、豊富に取り揃えたワインやシャン
パンとともに、ぜひお楽しみください。(西原シェフ)

ランチコースのオスズメは、前菜、パスタ、メイン、隣接するベーカリー『THE STANDARD BAKERS』（ザスタンダードベイカーズ）のパンがセットになった「フルマール」（1,900円）。プラス600円でセットにできるドルチェにも注目ください。パスタとメインは4種類、ドルチェは5種類からお好きなものをセレクトできます。前菜からメイン、ドルチェにいたるまで、心満たされるひとときを、ぜひどうぞ。

■店舗情報

LIBERA TERRACE

広島市南区松原町2-62
広島JPビルディング2階

[TEL] 082-567-5500

[営業時間]

ランチタイム 11:00~14:00 (L.O. 14:00)
カフェタイム 14:00~17:00 (L.O. 16:30)
ディナータイム
日~木 17:30~21:30 (L.O. 20:30)
金・土・祝前日 17:30~23:00 (L.O. 22:00)
不定休

Instagram



フォロー&いいね
お願いします

THE STANDARD BAKERS Report



清水さんオススメ!

メロンパン

外はさくさく、中はしっとり。異なる食感を同時に
楽しめます。少しレンジで温めたあとにトース
ターで焼くと、焼きたてのふっくら感がよみが
えります。メロンパンのおともは、乗松支配人
にレシピを教わった自家製「クラフトレモネード」。
蜂蜜のコクとレモンの爽やかな酸味が、
メロンパンの甘みと絶妙にマッチ!ぜひ一度、
試していただきたい自慢のペアリングです。



クラフト レモネード

● 社内の配置転換で「THE STANDARD BAKERS」に異動して約1年。「もっとお店のことを知ってほしい」という思いで始めたInstagramでは投稿の仕方を工夫しています。アングルを意識したり、流行を意識したり、動画を投稿したりした結果、フォロワー数が増加し、実際に足を運んでくださる方も増えたのが大きな自信になりました。
日々の接客で心がけている中の一つが、常連様の「いつものリズム」に寄り添うことです。「領収書が必要なお客様」「いつもホットコーヒーを飲まれるお客様」などに対し、先回りして準備を済ませ、「お待たせしました!」とお出しする。そんな何気ないやり取りが、お客様の元気の源になればうれしいです。昨年末には、「この一年、THE STANDARD BAKERSのパンに支えられたよ」「最終日もまた来るね」と、何人ものお客様から声をかけていただきました。「ただパンを売る」だけではなく、一人一人に向き合ってきたことが報われた瞬間でした。本当に感動しましたね。海外出張帰りに「真っ先に食べに来たよ!」と立ち寄ってくださる方もいて、お店が誰かの「リラックスできる居場所」になれていることを誇りに思います。
現状に満足せず、今後は新商品のリリース情報をより早くお届けする仕組みを整えたり、モーニングやドリンクメニューを刷新したりと、お客様さまに常に「新しいワクワク」を提供できるお店づくりに挑戦したいです。「今日はどんなパンがあるかな?」「THE STANDARD BAKERSに行くとなんだかホッとする」。そう思っていただけのファンの方を増やせるように頑張ります。
(販売スタッフ 清水梨花)

ベイカースブレッド

北海道産「ゆめちから」をブレンドし、パンの耳までふんわり、もちり。小麦本来の甘みが際立つ一品です。そのまま食べたり、トーストしたり、さまざまな味わいをお楽しみください。



オレンジバタープレッツェル

ほんのり塩気の効いたプレッツェルに、オレンジジャムとオレンジピールを練り込んだ濃厚なミルクバタークリームをサンド。オレンジのさわやかな風味とリッチなコク、口溶けが楽しめます。



ブリオッシュ抹茶あん(期間限定)

ブリオッシュ生地に抹茶あんを包み込み、ホワイトチョコをコーティング。抹茶チョコとチョコランチをトッピングして仕上げました。やさしい甘みがふんわりお口の中に広がります。

● 午前4時。「THE STANDARD BAKERS」の朝は、香ばしいパンの香りとともに始まります。毎日約50種類のパンを、材料の配合から仕込み、成形まで、一つひとつの工程に想いを込め、効率よく、かつ丁寧に焼き上げています。モーニングセットの準備も並行して進む厨房は、まさに活気あふれる朝の舞台!といった感じですよ(笑)。
「もっと美味しく」を追求し、ひと月に1~2つの新商品をつくるため、スタッフみんながアイデアを出し合いながら試作を重ねます。3月からは春の訪れを感じる一口として、「オレンジバタープレッツェル」「さくらあんぱん」、さらに、「ブリオッシュ抹茶あん」(期間限定)が登場しました。季節ごとに表情を変える彩り豊かな味わいにもぜひ注目ください。
(製造スタッフ 末盛 圭吾)

■店舗情報

THE STANDARD BAKERS

広島市南区松原町2-62
広島JPビルディング2階

[TEL] 082-567-5500

[営業時間]

7:00~19:00
モーニング 7:00~11:00
ランチ 11:00~14:00
不定休

Instagram



TikTok



フォロー&いいね お願いします

突撃! 環境リスクマネジメント事業部に あれこれ いろいろ 聞いてみた!

今あるものを更地化し、再生の準備を整える。解体工事や環境リスク対策など含め、街の再生に伴う事業が「環境リスクマネジメント事業部」です。「壊す」から始まる、新しい街づくり。「気づいたら、建物がなくなっていた……が、理想のカタチ」と話す事業部メンバー。広島を動かす、大規模解体の流儀とは?! 各業務の担当者がインタビューに応じてくれました。

現場を支え、スタッフ間の懸け橋に

入社以来、工事に欠かせない安全書類などの管理を担当しています。1カ月間に届く請求書は50～60社分。これを、5営業日以内に処理するにはスピード感が大事です。大変なのは、やっぱり「期限」(笑)。協力会社さんにも期限を守ってもらえるよう、電話でお願いしたり、少し早めの期限を伝えたり。ちょっとした工夫を大切にしています。入社当時は複雑にいろんな項目が紐付いている安全書類に苦戦しましたが、今は、先輩の馬越さんと丸田さんに教える立場。自分が業務に慣れた分、「どこが分からないのか」に気づく難しさを実感しています。でも、2人は設計の仕事も兼務していて本当に頑張り屋さん。だからこそ、2人の様子を見守りながら「ここは一緒にやろう」と声をかけるようにしています。今後は3人で力を合わせて事業部を盛り上げていきたいです。イベント企画や窓口業務など新しいことにも挑戦したいですね。



事務
宮尾 優唯さん
(2022年4月入社)

トラブルを乗り越えてつなぐ街の記憶、未来

私の仕事は、「着工してからが本当の勝負!」です。公共工事の膨大な書類を作り、いざ建物を壊し始めると、地中の状況(埋設物の種類や量)が事前の計画と違うことは日常茶飯事。そのたびに役所の方や現場の皆さんと「どう進めるか」の折衝が始まります。近隣の方々への対応にも苦慮しますね。チームワークでトラブルを乗り越え、お客さんに更地を引き渡し、「ありがとう」と声をかけられると、やり遂げたという達成感に満たされます。「ひろしま国際ホテル」など、広島市の街の象徴とも言える建物を元請けとして手掛かれるのは、桑原組ならではの誇りです。最初は内装を壊し、やがて巨大な躯体がなくなっていく。その光景を目の当たりにすると、「自分たちは今、歴史の一部に携わっているんだ」と胸が熱くなります。工期が半年の現場も気が付けばあっという間。それだけ濃密な時間を過ごしているんだと感じています。



営業
久留 優貴さん
(2022年5月入社)

最前線で指揮を執るマルチにこなす現場のキーマン

現場管理者として大規模な市街地現場の管理から、自ら重機のレバーを握ることもあります。これまでの現場で印象深いのは、広島駅前(アッセ)の解体です。通行人が行き来するまさにその上で工事を行いました。普通、解体工事の内部を人が歩いているなんて、有り得ないじゃないですか(笑)。水滴一つ、ほこり一つ落とせない。安全を最優先に、列車運行に合わせたスケジュール管理を徹底し、細部まで心を配る。張り詰めた空気の中でプレッシャーとの戦いだった分、無事に建物が消え更地化した時の達成感はひとしおでした。今後のビジョンは、組織全体の底上げです。若手にチャンスを与えて、まずはやらせてみる。失敗から学ぶことは多いですからね。誰が現場に行っても「さすが桑原組、仕事がきれい!」と言われるチームにしたい。全員が同じ高い水準で切磋琢磨できる環境を作っていきたいです。



現場管理者
箱崎 勇司さん
(2019年6月入社)



現場の相棒! 検電器

「これくらいは大丈夫だろう」という油断が一番怖い。内装解体時も検電器片手に「本当に電気は止まっているか」を何度も確認します。この「気づく力」こそ「桑原組ブランド」の根幹だと思っています。

「見えない数値」を読み解き、どう壊すかをデザイン

BIMを使って解体計画書を作成するための図面トレースや技術サポートを担当しています。CADの経験はありましたが、BIMは未経験からのスタートだったので、今も日々勉強の毎日です。解体対象となる建物の多くは古く、図面に柱や梁、壁の数値が記載されていないことも珍しくありません。図面から見えない数値を予測・計算し、どう解体していくか。あらゆる角度からシミュレーションします。試行錯誤の末に実物に近い図面が完成した時は、特にやりがいを感じます。今はまだ、風の抵抗や曲げ強度を判断し、どの重機をどこに配置すべきか、上司の沖田課長のアドバイスが欠かせません。沖田課長のように図面を見るだけで最適な解体手法を導き出せるようになるのが目標です。ゆくゆくは予算管理、足場設置計画、人員配置までを含めた解体計画書の全工程を一人で完結できる存在を目指し、一歩ずつ成長していきたいです。



技術サポート
丸田 早貴さん
(2025年6月入社)

●柱のクロス張り替え

まずはクロス張り替えの下準備。石膏(せっこう)ボードをビスでしっかりと固定し、土台を整えます。「穴あけ」「ビス打ち」「接着剤での固定」、一つ一つの工程をよどみなく、手際よく繰り返していく姿は、まさにプロの技です。



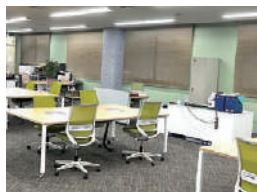
ビス打ち



下準備が整ったら、いよいよクロス(石膏ボード)の張り替えです。細かな箇所への密着には時間をかけて精度を高める。ここでもプロならではの丁寧な仕事ぶりが光ります。

●壁塗装

天井との境目は特にひと塗り、ひと塗り丁寧に。繊細な刷毛捌きはまさに職人の真骨頂。



壁色はグリーンを基調とした4色で構成。絶妙な色の組み合わせで、自然を感じさせるナチュラルな雰囲気とトレンド感を両立しました。

今回、広島ガスプロパン(株)様(広島県海田町)のオフィスリノベーションをお任せいただき、柱のクロス(壁紙)張り替えと壁塗装を行いました。きっかけは、昨年9月に行った3階フロアのリノベーション工事です。丁寧な仕事と細やかな対応を評価していただき、「ぜひ4階もお願いしたい」とお声がけいただきました。お客様との信頼関係をかたちにできるのは何よりの喜びであり、自信につながります。ご要望に応えるだけでなく、期待を超える空間づくりを目指して、これからも妥協のない仕上がりを目指してまいります。

建築に関する法律や専門用語は非常に多いため、日々の勉強が欠かせません。現場で職人さんから学ぶことも多いですね。仕事に対する情熱や、長年培ってきた専門知識、技術に関すること、さらには生き方のヒントになりそうな話まで。参考書や図面からは得られない現場の「生きた情報」は宝庫のようで、いつも引き込まれる魅力があります。「よし、自分も頑張ろう!」と、力がみなぎります。



営業兼現場管理者
伊藤 翔一さん
(2023年5月入社)

私は主に法人企業や店舗を担当しているため、営業時間外の夜間工事になるケースが多くあります。不規則な勤務になりがちですが、リノベーションの仕上がり喜んでいただくと、苦労が報われたような達成感や、やりがいを感じます。



◎「若年層の採用を目指し、明るいオフィス環境に整えたい」というご要望を受け、リノベーションを実施。開放的なレイアウトを生かしたクリーンな内装で、モダンな空間へと刷新しました。

◎フリーアドレスを導入したスタイリッシュな空間。リノベーション済みのフロアで、壁と柱はリノベーション前のまま古く、少し浮いた印象でした。



「広いスペースを生かして、明るく開放的な空間へ」

リノベーション現場に迫る

住空間創造事業部

©広島ガスプロパン株式会社様

Report from the PR office

広報室 レポート

SNS更新中!



X

Instagram

Facebook

＊桑原組が解体業の魅力を紹介

■ キャンパスキッズダム

昨年12月11日(木)、広島市安芸区の中野東小学校で開催された職業体験イベント「キャンパスキッズダム」に、テラスホールディングス(HD)グループ会社の桑原組・環境リスクマネジメント事業部メンバーが参加しました。同イベントは、「キッズダムひろしま」が主催する出張型の職業体験プロジェクト。地元企業が集まり、子どもたちに仕事の内容や意義、やりがいを紹介するイベントで、弁護士や救急救命士、美容師など、多岐にわたる業種が集結しました。体験する職種は、あみだくじ(くじ引き)によって決定。先入観にとらわれず、幅広い社会の仕組みを知るきっかけをつくっています。小学校での開催は今回が初めて。桑原組のブースでは、解体業のイメージアップを目的に、実際の現場を再現したメニユーを用意しました。まずはチェックシートを使って安全管理の重要性を学ぶ「KY(危険予知)活動」を体験。その後、2チームに分かれた対戦形式で、(1)ラジコンシヨルカーで建物模型を解体(2)解体した模型をダンプカーで運搬(3)「木くず」「石」「廃プラスチック」に分別…。「安全に壊して、きれいに運び、丁寧に分ける」という桑原組のポリシーを、ゲーム感覚で学べる内



ミッション成功!



熱心にお仕事体験中

容としました。当初は「解体工事ってなあに?」と不安げだった子どもたちも、いざリモコンを手にとると表情が一変。「壊すのが面白い!」「本物の重機はもっと大変そう!」など声を掛け合いながら任務を果たしました。解体工事という未知の世界に触れる貴重な機会となったようです。

環境リスクマネジメント事業部・小西部長は「今回はさらにリアルな模型を用意して、解体の迫力とやりがいを具体的にイメージしてもらえるように工夫したい」と話し、参加スタッフ一同、次回開催に向けた意欲を高めていきました。このような体験イベントがきっかけで、将来の職業の選択の一つに「解体」や「再生」といった業界が注目されることになると良いですね。

＊決意新たに。

「今ない当たり前」を創造しよう

■ 事業報告会・忘年会を開催

テラスHDグループは昨年12月15日(月)、広島グランドインテリジェントホテルで事業報告会と忘年会を開催。来賓として、妻崎事務所の妻崎博之代表、(株)セナの片山不士子様、(株)グッドカンパニーの川崎修平様にもご出席いただきました。

事業報告会では、各部門長が前期の業績と今期の目標を発表。桑原社長からは「人と地域の歴史と未来をつなげる街づくり」という企業ミッションとともに、2028年10月の桑原組創立70周年に向けた未来へのビジョンが示されました。「再生」「創造」「暮らし」「集う」の4軸を大切に、全社員の力を合わせて持続可能な街づくりを推進していかうと、改めて意識を一つにしました。節目の年に向けて、これからも新たな価値創造に挑み続けていきたいと思います。



事業報告会の様子

事業報告会のあとは業務を終えた現場スタッフも合流し、忘年会を開催。普段は顔を合わすことの少ない社員同士の交流は大変盛り上がりました。今後このような場を設け、部門間や拠点間での情報共有することで、新たな学びや成長の機会を生み出し、組織力強化を図ります。



みんなで「はい、チーズ」

＊新社屋で迎える新たなスタート

■ コラボが事務所を移転

テラスHDグループ会社のコラボは、昨年12月17日(水)、事務所を移転し、開所式を執り行いました。社外からは(株)グッドカンパニーの川崎様にご出席いただき、厳粛な空気のなか、参加者全員で事業のさらなる発展、そして関わってくださる皆さまのご繁栄を祈願。きれいなオフィスで新たな一歩を踏み出しました。



開所式の様子

2026年1月、広報室は新体制での活動をスタートいたしました。

★新生★広報室よりご挨拶

● 広報室が新体制となって、あっという間に4カ月が経ちました。テラスHDグループでは初めてとなる、女性だけのチーム、ということもあり、新鮮な視点や感性が飛び交う毎日です。2026年は、それぞれの個性を生かしながらも、皆さんにもっと「会社の今」を感じてもらえるような発信を強化していきます。そして、社内外問わず多くの方に信頼と親しみを持っていただける広報活動を目指してまいります。

(朝田真由)

● 昨年12月10日に入社しました、伊達朋子と申します。これまでは広告業界で編集ライターやディレクション業務に従事していました。広報室では、社内の新鮮な情報や皆さんの「生きた声」を社内外へお届けできるよう、アンテナを高く掲げて活動していきたいと考えています。私たちの発信が各部門の新しい業務展開や、お客様への価値提供につながるきっかけになれば嬉しいです!業務中にお時間をいただくこともあるかと思いますが、どうぞよろしく願っています。

(伊達朋子)

● 1月から入社いたしました、八木梨沙と申します。高知県出身です!前職ではプライダル・ギフトアイテムの企画・制作・SNSを担当していました。デザインとSNSが得意なので社員の方々・全社サービスの魅力をキャッチしてスピード感をもって発信し、より多くの方に認知いただけるよう活動いたします。新入生広報室をどうぞよろしく願っています。

(八木梨沙)

● 3月から広報室に異動となりました、刀根実梨と申します。デザイナーとして社内の販促物制作を主に担当しております。これからもデザインのクオリティを追求しつつ、「作って終わり」ではなくその先にどのような効果や価値を生み出せるかをより強く意識して取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしく願っています。

(刀根実梨)

今号の「TERRACE TIMES 5号」は、新体制となってから初めての発行となります。制作にあたり、多忙な業務の間を縫って早く取材に応じてくださった皆さま、そして貴重なお時間を割いて資料のご提供やご確認にご協力いただいた皆さまに、この場を借りて深く感謝申し上げます。新しい感性とチームワークを大切に、皆さまの想いや活動を社内外に向け丁寧に届けたいです。



事業部コラム

{ 環境リスクマネジメント事業部 }

営業／久留 優貴

昨年10月より着工した公共工事では、内装解体と渡り廊下の撤去が無事に完了し、現在はアスベスト除去と足場組立を進めています。2月には大型重機を搬入し、いよいよ本格的な躯体解体へと移行しました。引き続き安全管理を徹底し、無事故無災害での完工を目指してまいります。また年明けには呉の大型案件も受注しており、良い流れが生まれています。この勢いを落とすことなく、今年も大型案件の獲得と現場力の向上に向けて部署一丸となって取り組む所存です。

私事ではありますが、丙午の年にちなみ思い切って髪をバツサリ切り、心機一転のイメージチェンジをしました。変化や挑戦に適した一年と言われていることもあり、よりパワフルに挑んでいきたいと考えています。



{ 九州支店 }

主任／白木 智大

コラボ九州支店は昨年12月に博多区東光から私の生まれ育った糟屋郡志免町へ事務所を移転しました。新事務所は1階が倉庫兼作業場、2階が事務所スペースとなっております。福岡空港国内線より車で10分、博多駅より20分、さらに最寄り的高速道路ICまで車で15分と利便性の良い立地となっております。私も昨年6月に九州支店へ入社して半年以上がたちました。入社前は約15年ガラスフィルムの職人として働いておりましたが、コラボではそれに加え営業、施工管理職とマルチに働かせていただいております。現在建築ガラスフィルム1級の国家資格を取得しているため、さらに施工管理資格を取得しようと勉強中です。新事務所になり心機一転、さらに九州を盛り上げるべく九州支店一丸となり邁進していく所存です。



{ 住空間創造事業部 }

工務担当／渡邊 弘輝

当部署では戸建て新築工事から内装改修工事、店舗の新装工事、解体工事、駐車場の整備等、さまざまな案件に対応しております。私の担当業務も戸建て新築工事の管理から始まり、幅広い分野で施工の管理をさせていただくことで、多岐にわたる案件に対応できるようになりました。弊社運営のレストラン「グランゲート広島」も弊社にて新装工事を施工しており、管理者として担当を務めた工事の一つです。

昨年7月からは工場内のトイレ改修工事を複数箇所担当しております。最初は慣れない作業もありましたが、今では「トイレ改修ならお任せください!」と自信をもって答えられるほどの経験が身につきました。

さまざまな案件を乗り越えて知識や対応力を身につける事ができる桑原組でのやりがいを感じながら、日々学び、お客様に喜んでいただけるよう、「満足のいく仕上がり」に向けて突き進んでまいります。



{ 経営企画部 }

担当課長／的 尚也

●**経理**：稼働日の少ない12・1月を乗り越え、無事に決算業務を終えました。一年の最大イベントを完遂し、ようやく肩の荷が下りた心境です。昨今は選挙など税制に関わる動きも活発ですが、どんな環境変化にも動じず対応できるよう、気持ちを切り替えて新年度も正確な業務で会社を支えます。

●**人事・総務**：管理部門においては、12～1月の時期が1年の中でも最も業務が集中する時期です。昨年は給与システムを刷新し、給与明細をスマホアプリで配信できるようにし、年末調整の入力もアプリで行えるようになり業務効率化できました。12月に年末調整作業を終え、1月の給与支給日に合わせ源泉徴収票の発行、年調還付金の手続きを行いました。

また今年より人材確保の施策としてリファラル採用制度を強化いたします。従業員の知人・友人を紹介してもらって本制度のインセンティブ制度の充実を図り、採用力の向上に努めます。

{ THE STANDARD BAKERS }

販売スタッフ／清水 梨花

THE STANDARD BAKERSでは、1月より北海道産小麦を使用したデンニッシュ生地シナモンアップルジャムを挟んで焼き上げた「アップルデンニッシュ」の販売を開始いたしました。また、アルバイト4名が3月をもって大学卒業のため退職となります。そのうち3名は、グランゲート広島のオープン当初から携わってくださり、私が異動してきた際にも多くの場面で支えていただきました。大きな戦力となっていただいていたメンバーが離れることに不安もありますが、新しい仲間も少しずつ増えています。卒業を控えた彼女たちが、新しいメンバーに対して一生懸命業務をサポートしてくれている姿はとても頼もしく、同時に、別れが近づいていることを実感する日々でもあります。寂しさはありますが、4月からそれぞれが素敵な社会人として新たな一歩を踏み出されることを心よりお祈りいたします。



{ LIBERA TERRACE }

キッチンスタッフ／西村 龍也

2026年を迎えてはや3カ月、商品開発やオペレーション改善、広報、コミュニケーション強化、データ解析等、全スタッフが大小さまざまな「テイク・アクション」を行い、春に向けて成果が芽吹き始めています。

3月より、春のグランドメニューをスタートさせ、宴会プランもご用意いたします。たくさんの方にご紹介、ご来店いただき、春の息吹を感じていただきたいと思います。また、さらなる成長のために、ご意見、ご感想をいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

